

# 中国海軍艦船の建造コスト

漢和防務評論 20180406(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

内部資料に基づく中国海軍に関する欧米側の研究報告について、漢和に投稿記事がありましたので紹介します。  
要点だけを記述した記事です。

劉文濤

中国海軍は、大型艦船建造の時代に入った。今後 052D、055 型大型水上艦を主に建造するであろう。これらの艦船の建造コストはどのくらいか？

欧米から入手した研究報告によると：先進型ミサイル駆逐艦 1 艘の建造費は 20 億元以上、ミサイル護衛艦 1 艘の建造費は 10 億元以上、弾道ミサイル核潜水艦 1 艘の建造費は約 100 億元、対艦ミサイル 1 発の製造費は 100 万元以上、である。

すなわち 1 米ドル 7 円で計算すると、094 型核潜水艦の建造費は 14 億ドルになる。(KDR:これは KDR の評価と完全に合致する)。

中国の各大型造船所は、基礎設備を拡充しつつある。この問題に関し、カナダの「漢和」情報誌が以前に衛星写真で説明している。これらの基礎設備建設の投資規模は、小型事業で 100 万元以上、中型事業で 1000 万元以上、大型事業で 1 億元或いは数十億元になる。

同研究報告によると：中国海軍が 1 人の駆逐艦又は護衛艦艦長を育成するためには、海軍の初級将校養成院校での学習開始から艦長に補任されるまで約 18 乃至 20 年かかっている。

海軍基地建設に要する期間は、小型艦艇用で一般に 2 乃至 4 年、中型艦艇用で約 5 乃至 7 年、大型艦艇用で通常 10 年以上である。

同研究報告は、055 型以後の水上艦、潜水艦の開発、生産計画に関し次のように述べた：中国海軍は知能コントロール技術及び総合集成技術を一体化した新型駆逐艦の開発に集中し、攻防兼備型の大型水上艦艇とその関連設備を開発しようとしている。

航空兵部隊は、陸上基地発進の長距離攻撃機、作戦支援機及び艦載機を重点に開発しようとしている。特に艦載機、電子戦機及び早期警戒機を最重要視している。

潜水艦部隊は新時代の水中からのミサイル攻撃型核潜水艦と高性能の通常動力型潜水艦の開発を重点に、核動力と AIP システムを一体化した装備を開発しようとしている。

いわゆる水中発射ミサイル攻撃型核潜水艦は、ロシアの OSCAR 級のような巡航ミサイル核潜水艦の開発を目指していると思われるが、トン数は異なる。

以上